

平成24年度第2回さぬき市行政評価委員会 会議要旨

- 1 日 時 平成24年8月9日（木）13時30分～17時00分
- 2 場 所 さぬき市役所3階301・302会議室
- 3 出席者 【委員】工藤委員 定國委員 鈴木委員 津村委員
長山委員 奈良委員 柳井委員
【事務局】政策課長外2名
【傍聴】0名
- 4 会議次第 1 開会
2 委員長あいさつ
3 議事
（1）実施方針の確認について
（2）事務事業外部評価
①市民病院
②議会事務局（議事課）
③健康福祉部（福祉総務課、長寿障害福祉課、子育て支援課）
（3）次回開催日等について
4 その他
5 閉会

5 会議内容

発言者	意見概要
政策課長	<p>(13:30) ただ今から平成24年度第1回さぬき市行政評価委員会を開催する。まず委員長からの挨拶をお願いしたい。</p> <p><委員長挨拶></p>
政策課長	<p>議題に入りたいが、ここからの進行は長山委員長をお願いしたい。</p>
委員長	<p>実施方針の確認であるが、調書は別紙のとおりとなっている。内容のおさらいをしたいが、活動指標は行政でコントロールできる数値であり、成果指標は行政がコントロールできない数値、つまり事業をどのようにしたいかという数値である。</p> <p>続いて必要性・有効性・効率性についてであるが、必要性が低いとなると、住民が求めていることを行政が行っていることになり、事業自体の根幹に関わることとなる。有効性については、事業は必要であるが、事業のやり方が現状とかみ合っていないとなると有効性は低いと判断される。効率性はその事業が効率的に行われているかを指す。普通は必要性、有効性、効率性の順番に評価が厳しくなる。</p> <p>この3つを踏まえた結果を総合評価とし、その理由も書いていただければと思う。</p> <p>あと進行についてであるが、担当課が5分説明を行い、それに対して15分間の質問を行うこととなるため、多くの人に質問してもらいたいので、一問一答方式で行うこととする。</p> <p>質問終了後は評価シートのそれぞれの項目を記入していただきたい。</p>

委員長	<p>最初は市民病院になるので早速説明を開始していただきたい。</p> <p><市民病院による事業説明></p>
委員長	では早速質疑応答に入りたいと思う。質問がある方は挙手をお願いしたい。
委員	人件費部分の正規職員数が49名となっているがどのような数え方をしているのか。人件費を人数で割ると325千円となる。対して臨時職員については36名で人件費をこの人数で割ると574千円となる。臨時職員のほうが人件費が高いことになるが、どのようになっているのか？
市民病院	人件費として表示しているものは医師・看護師等の時間外手当を記載したものである。夜間救急医療は182日開設しており、職員数はそれに携わる実人員である。夜間救急医療には非常勤の医師にも来てもらっており、その人件費は臨時職員人件費に含まれている。
委員	一晩何人で業務を行うのか？
市民病院	医師2名と看護師2名である。
委員	人数の表示は延べ人員のほうがいいのではないかと？
市民病院	調書の記載方法がそのように記載するようになっている。
委員長	この49人という数字は年によって変動するものであり、あまり意味が無いので、延べ人数に変えるなど、別の記載を考えたほうが良いと思われる。
委員	市民の方は風邪などの軽い病気であれば市民病院を利用するが、癌などの重篤な病気の治療には高松市内の病院を利用するという状況がみられる。その理由の一つとして看護師の質に問題があるのではないかと？事前質問の回答にも対策を記載していただいているが、それ以外に付け足すことがあればお願いしたい。
市民病院	資質向上のためには研修を実施するだけではなく、外部の研修にも積極的に参加するようにしている。当院も看護師が不足しており、募集に対しても応募数がかなり少ない状態である。応募者全員を採用しているわけではないが、我々の求めるだけの応募が無い状況であることからかなり苦慮している。よって看護師の質を上げるのであれば現時点での採用者の質を上げるほかないと思われる。
委員	活動指標に記載されている数値はどこから導いているのか。夜間救急受入患者には小児は含まれているのか？
市民病院	夜間救急受入患者数は実績値には小児も含まれている。小児夜間救急受診患者数は小児医療の実績を記載している。
委員	計画を再度見直すという話もあったが、どういう風に見直すのか？
市民病院	当初の計画は昼間の数値も含んで年間5,000人という数字となっていたので、実

	<p>績値に合わせて見直しを行いたい。</p>
委員	<p>病院の現在の状況の判断ができないため、計画値はしっかりと出してもらいたい。 あと、玄関が非常に狭く使いづらい。細かい話ではあるが、どのように考えているか？</p>
市民病院	<p>この計画は白鳥病院との合算の数値を割っただけであるため、次回からは当院のみの数字というところにこだわって計画を出すこととしたい。あと、玄関の件については非常に申し訳ないと思う。ひさしが無くて雨に濡れるという苦情も多いが、これについては現在行っている外構工事で解消する予定である。</p>
委員	<p>総合計画上の位置づけに「安心できる医療環境のあるまちをつくる」ということが書かれているが、今までの話を聞くと医師や看護師の不足や質の向上という問題があるにもかかわらず、事業の効率性には「事業を実施するためには、必要な経費の額であり、経費相応の効果を得ている。」と自己評価しており、実際はどのような評価なのかが分かりづらい。今後の方向性についても「現状維持」としているのは矛盾ではないのか？</p>
市民病院	<p>改善をしたいところではあるが、現状維持とならざるを得ない。</p>
委員	<p>それでは説明になっていないのではないかな？</p>
委員長	<p>医療は安心をもたらすことを目的にやっているとなると、拡充というのが妥当とは思われるが、人材も予算も無い中では現状維持としか評価しようが無いというのかわかる。ただ、外部の目にも触れるものであるため、書き方は考えていただきたい。</p>
委員長	<p>続いて議会事務局から説明をお願いしたい。</p> <p><担当課説明></p>
委員	<p>成果指標の「市議会HPへのアクセス数」というのは活動指標となり、活動指標の「傍聴者の人数」が成果指標として適当ではないか。</p>
議会事務局	<p>ご指摘のとおりと思われる。</p>
議会事務局	<p>傍聴者の数についてであるが、ケーブルテレビで生放送・録画放送を行っていることから、傍聴者の人数を増やすことは難しい。</p>
委員	<p>もう少し的確な指標を設定していただきたい。</p>
委員	<p>ケーブルテレビの加入率が75%ほどであり、生中継等を行うことによって市民に議会の状況が行届いていると断言できるのか？</p>
議会事務局	<p>過去の議会改革の委員会でもケーブルテレビの加入率は75%であるが、視聴率はどの程度であるのかという議論もあった。ただ、ケーブルテレビでは視聴率の算出がシステム上できないことから、断念した経緯はある。</p>
委員	<p>ケーブルテレビで中継等を行っているからといって、議会の情報が市民に伝わっているとは断言できないのではないかな？もう少ししっかりした指標を考えるべきではな</p>

	いか？
議会事務局	具体的な数値が把握できる手段があれば取り入れたい。また議会改革はまだまでであるという意識は事務局も議員も持っていることから、これも改善をおこなっていきたいと考えている。
委員	議員定数を26人から22人に減らしたとなっているが、それが適正である根拠はないと書いており、他の自治体との比較からしても問題ないとなっている。本当に右にならえで問題ないのか？また議会事務局から議会に対して更なる定数削減は求められるのか？
議会事務局	議員定数については事務局で意見できるものではない。今後さらにこの定数をどうするかについては、おそらく次の議員の改選時に議員から話があれば協議が行われると思われるが、現時点では何とも言えない。あと、議員定数が横並びであるとのことについてであるが、議員が少なければ少ないほどいいというものではないと思われる。過去には地方自治法に議員定数の上限が定められていたが、現在はその上限が廃止されており、自治体ごとの考え方によるところである。
委員長	続いて福祉総務課から説明をお願いしたい。 <担当課説明>
委員	評価調書の人件費の正規職員が0.2名となっているがどういった仕事をしているのか？補助金を出すだけの仕事なのか？
福祉総務課	0.2人というのは一人の人間が福祉協議会に関する事務に係る人件費として0.2という数字を設定している。また、業務としては補助金を出すだけではなく、社会福祉協議会と連絡調整を行っている。
委員	実際事業を行っているのは福祉総務課でないのであれば、補助金の予算はどのように算出するのか？
福祉総務課	補助金の金額については、社会福祉協議会の人件費が大部分を占めており、算出基礎は特にないが、社会福祉協議会から補助金の要望額がでたところで、ヒアリングや現地調査を行って査定を行い、その数字を予算調整室と協議したうえで決定している。また、不用額が発生した場合は返還を求めている。
委員	社会福祉協議会に市の職員が退職後に就労していると聞いたが、天下りではないのか？
福祉総務課	我々の認識としては社会福祉協議会の職員採用の一環であり、行政から退職者を雇ってもらいたいとの話は一切していない。
委員	社会福祉協議会の業務は市が丸抱えであるが、市が直営で行うということとはできないのか？
福祉総務課	社会福祉協議会の根幹部分に関わる話であるため、ここでご説明させていただくには時間が足りないと思われる。

委員	以前に比べると社会福祉協議会への市民の関心が薄れていると思われるが、担当課としてはどのように考えているか？
福祉総務課	社会福祉協議会の活動が各自治会に浸透していない事例が多々あると思われる。その原因の一つとしては自治会長や福祉委員が毎年交代する自治会もあり、社会福祉協議会の事業趣旨を理解しないままに次の方にバトンタッチしてしまうことが考えられる。それによって事業への参加や協力もなくなっていくものと思われる。
委員	評価調書の活動指標と成果指標は反対にしたほうがいいのではないかと？委員長の説明からすると成果指標は行政でコントロールできない指標が設定されるということからすると、地域福祉委員の委嘱は成果指標にはそぐわないのではないかと？
福祉総務課	指標の設定については再考させていただきたい。なお、地域福祉委員については行政が委嘱するのではなく、社会福祉協議会が委嘱しているという点にご留意いただきたい。
委員	事前質問で老人会と地域いきいきネットの住み分けが曖昧でないかという質問をさせていただき、回答には双方とも独自事業であると回答していただいている。しかし、双方の対象者が違うにもかかわらず、二重に登録する者もあり、活動に関しても本来の趣旨からずれてきているという状況も見られる。よって双方とも別事業であるという回答はいかがなものか？
福祉総務課	市は指導監督する立場であるため、指摘をいただいた部分に関しては社会福祉協議会と協議していくこととする。
委員	評価調書の今後の方針を読むと地域差があるように読み取れるが、さぬき市として旧町単位の社会福祉協議会をコントロールできているのか？
福祉総務課	地域差があるのは確かである。
委員長	評価に関しては社会福祉協議会の活動内容も評価しなければならないと思われる。
委員長	続いて長寿障害福祉課から説明をお願いしたい。 <担当課からの説明>
委員	登録者数だけではなく、受け入れができる仕事内容を増やし、成果指標に就業率を設定してみてはどうか？
長寿障害福祉課	成果指標に就業率を入れるようにしたい。
委員	シルバー人材センターの事業が赤字になった場合は一般会計から補てんするのか？
長寿障害福祉課	公的な機関であることから黒字があまり認められないものではあるが、黒字化は必要であると認識している。センターも経営努力しており、赤字が出るという状況もできる限り無いように双方で話し合いを行っている。

委員	事務費として8.5%が設定されているが、金額として多いのか少ないのか？
長寿障害福祉課	10%を適用しているところもあるが、市としては労働者に多くの賃金を受け取ってもらいたいことから8.5%を適用している。
委員	シルバー人材センターの業務を行っていくに当たり民間業者とトラブルになったことはないのか？
長寿障害福祉課	具体的な話は確認していない。
委員	評価調書には事業費実績が2千万円程度と記載されているにもかかわらず、事前に頂いた資料にはシルバー人材センター事業の事業費が3億6千万程度と記載されている。この金額の差は何か？
長寿障害福祉課	市としての事業費はシルバー人材センターへの助成金として2千万円程度となっており、3億6千万円はシルバー人材センター自体の事業費となっている。
委員	事前質問への回答書には平成23年度事業費は対前年で247万円減ったと記載されているが、どちらの事業費が減ったのか？
長寿障害福祉課	市の事業費が減額となった。
委員	平成23年度の当初予算額と決算額が同額となっているが、この数字は適正であるのか？
長寿障害福祉課	予算全額が助成金となっているので、予算と決算が同額となっている。
委員	事実であるかどうかはわからないが、シルバー人材センターに所属しながら、個人で仕事を受注して事務費の控除を免れているような事例があるという話をきいたが、そのような事実は把握しているか？
長寿障害福祉課	そのような事案については把握していない。今後センターとの打ち合わせの際には議題としたい。
委員長	続いて子育て支援課から説明をお願いしたい。(保育所運営事業) <担当課からの説明>
委員	政策審議会では保育所は各町に1か所とすると決定したそうであるが、さぬき市全体で考えずにいつまでも旧の町単位で物事を考えると合併した意味が無いと思われる。ただ、決定しているのであればどこにできるのか？
子育て支援課	新築することは考えておらず、既存の施設に統合する方向で検討している。現時点で決定していることは志度東保育所を平成25年度末に閉所とし志度保育所と統合することとなっている。ただ、その他の地区は議会にも提案しているが、まだ承認は受けていない。
委員	事前質問の回答書には公立保育園は8か所となっているが、評価調書の活動指標には

	9か所と記載されている。この違いは何か？
子育て支援課	平成23年度については公立保育所は9か所あり、そのうちの一つが平成19年から休園となっている長尾保育所分園助光保育所があり、平成24年度5月末で閉園となっていることから現在は8か所となっている。
委員	成果指標の入所児童数は8か所としての数字なのか9か所としての数字なのか？
子育て支援課	9か所ではあるが、助光保育園が休園となっていることから、実質は8か所である。
委員	定員は8か所で515名ということでもいいのか？
子育て支援課	お見込みのとおり。
委員	事前質問の回答の中で民間保育園を希望する保護者が増えているという記載があるが、なぜ民間に流れるのか？
子育て支援課	定員に対して計画値・実績値が下回っているが、子供の人数自体が少ない地区もあるためこのような状態となっており、すべてが民間保育所に入所しているわけではない。中には仕事の関係で高松市等の保育園に入園させている保護者の方もいらっしゃるからある程度バランスは取れているものと思われる。
委員	志度東保育園は入園者が30人程度という説明があったが、それは自然とその数字になったのか？それとも閉園を見越して徐々に行政側が減らしているのか？
子育て支援課	統合計画は平成16年に政策審議会で決定され、新聞にも報道されたことから、それを見越して他地区の保育園に入園させる保護者の方もいたと思われるが、基本的には少子化の影響で入園者が減っていると思われる。なお、行政側が入園者調整をしているという事実はない。
委員	先ほどの説明で他の自治体の保育園に入園させる保護者がいることでバランスが取れているとの発言があったが、行政としてはそういうことを言うべきでないのではないか？子供は地元で育てるものではないのか？高松の保育園に入園する人がいるからそれで良しとするのではいけないのではないのか？
子育て支援課	そういう意味で発言したわけではない。高松方面に云々という発言については民間保育所に行く場合の方については、そういうこととができるという意味で発言した。
委員	評価調書の自己評価が「統合・廃止」となっているが、事業を統廃合するという意味なのか？それとも園を統廃合するという意味なのか？
委員長	評価調書における「統合・廃止」というのは、公立保育所を全部なくすということが統合・廃止となるため、公立保育所の自体の統廃合であれば「抜本的見直し」にチェックがつくのが妥当であると思われ、統合・廃止にチェックがつくのは不適切であると思われる。
委員	早期保育や延長保育に従事する保育士は日中働いている方が対応しているのか？

子育て支援課	日中働いている保育士で対応しており、早朝・延長保育専門に雇っている保育士はいない。また、勤務については時間調整をしている。
委員	臨時職員の人件費は事業費に含まれているのか。
子育て支援課	お見込みのとおりである。臨時職員の人件費は144,050千円ほどとなる。
委員長	民間と公立の延長保育の時間はそろっているのか？
子育て支援課	民間のほうが長い。ただ、志度保育所と長尾保育所は民間と同じ時間で行っている。
委員長	引き続き子育て支援から説明をお願いしたい。(民間保育所育成事業)
	<担当課から説明>
委員	待機児童は0という解釈でよいか？
子育て支援課	お見込みのとおり。
委員	補助金額が活動指標となっているが、補助金額は指標とはなりえないと思われる。
委員	公立と民間では保護者に対する補助金は違うのか？
子育て支援課	補助金制度については特にはない。ただ、保育料の負担については公立・民間とも同額である。
委員	保育所の希望はほとんど第1希望の保育所に入れるのか？
子育て支援課	応募数によっては希望どおりにならない場合もある。
委員	公設民営方式については検討しなかったのか？
子育て支援課	他市ではそういった事例もあるが、当市ではそういった検討をするには至っていない。過去には検討を行った経緯もあるが、人口が少ないこともあって民間の受け手がいないことから断念した。
委員	人口が少なくなって民営化が難しいということは、地域によっては今後も税金を使って運営していくことと思われるが、片や税金で色々な内容の保育を行い、地域によっては民間が自分たちの力で保育を行うようになると思われる。よってその部分についてはどのように対応するかはよく考えていただきたい。
子育て支援課	保育の内容や経費の内容と思われるが、国の示す保育単価からすれば、公立・私立ともそれに即した単価となっている。
委員長	各課からの説明が終了したので、いったん休憩とする。
	<休憩>

委員長	<p><資料を見ながら説明> 市民病院からの回答では意見が分かれていて、現状維持が3人、要改善が4人である。数自体は半々くらいだが、要改善と書いた方に十分な根拠があるかと思う。総合評価を要改善にしてよろしいか？</p>
委員	要改善にまつわる注意書きなどは公表するのか。
委員長	公表するとなると総合評価のみを公表するのか？それとも評価理由と改善の方向性の両方を公表するのか？
政策課	総合評価と評価の理由と改善の方向性について各々まとめて公表する。
委員	公表する文書はどこかの時点で委員が確認できるのか？
政策課	評価が全て終了した後には皆さんにもう一度集まってもらい、文言の確認をしていただきたい。
委員長	評価の理由を書く時間がなかったので、議事録から起こして継ぎ足したり削ったりすることを認めてほしい。要改善の場合は内容に沿うように調整しなければならない。
政策課	要改善となった場合、改善の方向性を示すようになっているため、どのように改善すればよいのかを示していただきたい。
委員長	市民病院の事業については職員の資質向上、あと、目標がはっきりしていないようであったため、目標の共有について記載すればよいと思われる。
委員	回答にある、<安心できる医療環境のあるまちをつくる>というのは目標として欠かせないのではないか。
委員長	職員の資質向上の心構えで盛り込むということをお願いしたい。
委員	委員長には負担がかかるが、議事録は事務局に作成してもらおうとして、評価理由等は委員長にまとめて書いてもらうのはどうか。行政側は書きづらいのではないか？
政策課	議事録は作成する。原案については、市は評価者の視点ではないので、評価を下した意図をうまく書き出せるかと話していたので、できれば評価をする側の人に書いてもらうのが一番である。議事録ができた時点でコアになる部分を抜き出しておいて、最終的に委員長にチェックしてもらうのでどうか。
委員長	了解する。
政策課	先ほどの話についてであるが、目標の共有が計れていないというのは「目標値が曖昧なのか」「成果指標の数値が曖昧なのか」など話のなかのどの部分をもって共有できていないと判断しているのかが事務局側ではわかりづらい。委員が思っている部分と我々が受け取っている部分が一致するのが不安な部分がある。
委員	目標は数値だけではない。<安心できる医療環境のあるまちをつくる>ことに対しての目標である。民間の医者と違う。公務員として従事しているのだから目標意識は不

	可欠である。やり遂げようという意志の下、目標を掲げるべき。
政策課	現場ではそんな方は多数いるであろうが、今日の説明では十分出てなかった。
委員長	今回の説明からは目標が共有されているようにはうかがえなかったと限定詞をつけてあげるといいのでは。そういうことで、概ねまとめてもらえれば、チェックする。それでは、次の議会運営事業へ。 現状維持が1名、要改善が6名ということで、総合評価は要改善で取りまとめたい。ただ、評価の理由について様々だ。方向性としては住民の関心強化が一番適切である。議員・議案毎の賛否の公開など取り組んでいる部分もあるがまだまだ不十分である。
委員	HPで議会のことは上手くいかないと思う。誰が言ったかという以前に、どのことについてどんな話が合ったとか、もう少し一般受けする結論めいたものを公開する方が理解しやすいのでは。
委員長	「今日の主な出来事」のように誰かが取りまとめる用紙がないと厳しい。さらに、特定の議員の発言を取り上げることになるので事務局も取捨選択が難しい。評価の理由はもう少し議会の存在意義を明確にできる取組がほしいということだと思う。
委員	議員定数の削減やCATVの生中継等は評価の理由になるのか。
委員長	議員定数の削減については、迷った。しかし、議員の人件費の話をするのなら、議員がどのくらい働いているのかという議論をしなくてはコストパフォーマンスがでない。だが、議員がどの程度働いているのか数量化する必要はないかと。地方議会は市役所の職員は見ているが、基本的に誰も見ていないところでやっているため、独自の議員の条例の提案や件数といった質的な評価になってしまう。改善の方向性としては差し込んでいいかと。
委員	HPやCATV等、もっと議会の内容を公開できるような方法はないのか。議会の広報はあるのか。
政策課	広報はない。HPはある。
委員長	情報量を増やすことが基礎であるが、情報量を増やすだけでは検索のコストがかかるので、情報の選別の機能がほしい。検索エンジン経由での絞り込みは可能だが限界がある。これも要改善なので、評価の理由については少し辛めに書く必要があるため、一度議事録から起してみる。改善の方向性は情報公開のツールについてということによるしいか。 <了解する>
委員長	では、次の社会福祉総務事業へ。現状維持1名、要改善6名と辛い評価が出ている。理由は社協と市役所は事実上一体なのに、法律上は別法人なので強く介入することはできない現状が評価の低い理由だと思う。社協との協力・共有を進めないといけない。社協が別法人でまったく独立したものであるなら、株式会社が参入してきた場合でも、特別扱いせず公平さを保たなければいけないが、実際は社協なしで福祉は回らない現状なので、特別な存在であることは明らかである。そのため事実上「別働隊」だといわれても仕方のないことだとは思っている。ただお互いのやり取りはもう少し必要であ

	<p>る。本来福祉総務課は、社協の中身全般についてではなく、社協への補助金の交付についてだけを取り上げてほしかったのだと思う。ただ、補助金を出すのであれば、どの程度社協が機能しているのか担当課には知る責任があるということで辛く評価されているのだと思う。社協を具体的にコントロールした方がいいとの意見が大多数である。社協の働きに地域差異があること記載しているが、担当課が認めたということでいいのか。</p>
委員	<p>担当課が認めているし、差があることは事実である。</p>
政策課	<p>全般的に具体的な話が出ていない中で、要改善の具体的内容まで示すことは難しいと思う。出てきた議論の中から吸い上げていくしかないのでは。</p>
委員	<p>社協の直轄事業と、例えば自治会にお願いしているようなものも、日盛の里などは実際に社協から人が来ているのか。</p>
政策課	<p>社協には二つ部門があり、一つは法人運営部門ということで、社会福祉やボランティアといった市の補助を受けて行う部分と、介護サービスや施設サービスを担う部分がある。今回、介護サービス部門は対象から外れているので、市が直接に補助している部分が対象である。</p>
委員	<p>やはり社協には温度差があるように思う。旧町の社協の強い雰囲気自治会に伝わっている所と伝わっていない所がある。老人会を一部休止している所も見受けられる。そのため、どの地区でも老人会組織が人員欲しさのために名前だけ書く人もいる。</p>
委員長	<p>確かに、要改善の具体的内容は議事録の範囲内で起こした方がいいかもしれない。ポジティブな意見は少なかったので、議事録から例に挙げて要改善の方向へもっていくことでいいと思う。社協の活動そのものに対する評価を理由に要改善にしてもいいとは思わない。では、社会福祉総務事業、社協に対する補助の件はこれまでとする。では次のシルバー人材センター補助事業へ進む。拡充1名、要改善6名と、圧倒的に要改善である。</p>
委員	<p>要改善と拡充は紙一重である。要改善するということは拡充しろということだ。今日の感じでは努力していないように見受けられた。高齢化が進んでいるので手伝える人も増えているはず。もっと新規の人を確保・開拓する努力が必要なのでは。</p>
委員	<p>まだ6~700人しかないはず。</p>
委員長	<p>事業規模自体を縮小する必要はないが、内容ややり方を要改善とするべきかもしれない。</p>
政策課	<p>拡充というのはどういった意味なのか。市はシルバー人材センターに2000万あまりの補助をしている。今回の会議の内容が、補助をしている事業、シルバー人材センター補助事業に対する評価なので、それを拡充することは補助金も増やすという捉え方もできる。</p>
委員	<p>補助金は増やさず、中身の拡充・改善である。</p>
委員長	<p>補助金を増やしてまでという意見は少ない。評価の理由を、シルバー人材センターの</p>

	事業の効率化等にしておけばいいのでは。改善の方向性についてはシルバー人材センター事業そのものの活動を改善と書いて構わないのか。
政策課	社会福祉協議会と同じだが、市がシルバー人材センター自体の活動を支援しているため、その部分を含めて改善の方向で構わない。
委員長	多少辛くなるが要改善で。シルバー人材センター事業の活動意義は認めると一言加えると読む側はわかりやすいと思う。では、次の保育所運営事業に進む。抜本的見直し5名、要改善1名、現状維持1名と抜本的見直しとなる。ただ、統廃合含みの評価なので、評価の理由では現在の計画について言及した方がいいと思う。現状維持と書いた方は統廃合に対して批判的な意見の方だ。全体的には抜本的見直しを擁護する意見が多いので、結論へもっていく為には評価の理由で公立保育所の統廃合についてはポジティブな評価でまとめないと辻褄が合わなくなる。しいていえば、改善の方向性で十分に住民や保護者へ園の説明を尽くすと加えれば少し柔らかくなる。抜本的見直し、公立保育所の統廃合を認めるという結論でよろしいか。
	<了解する>
委員長	では、最後、民間保育所育成事業へ。今回最も評価が高く現状維持5名拡充が2名である。現状維持の方向にしたいと思う。しいていえば、園の場所や定員の配置について議論が出たように思う。実際、園の場所自体を動かすことは難しいが、人気のある保育園は、設置基準はあると思うが保護者から定員の数を増やす要望はあるかもしれない。
委員	民間の保育園は、人口の多い地域にしかなくて、人口が減少している地域には公立が一つしかないことを本当は住民に説明しなくてはいけないと思う。
委員長	難しいのは総数が足りていて待機児童がいないので、拡充が難しい。待機児童がいないのに大きく変える必要があるのかと疑問はあるだろう。特に人口減少地域は本当に保育所が必要なのかプレッシャーがかかる。民間保育所育成事業については問題ない。こちらについても、議事録で出た範囲でまとめる方向でよいと思う。
政策課	今回、外部評価という形で集まり、説明する側も緊張感を持ってやっているが、その中でいろんな意見が出た。その中で政策提言や評価という形で出すのだが、今回我々が案をまとめるということだが、まとめた案が、例えばここが悪いとか、これだけの評価調書なり質問のやり取りの中で具体的な提言は難しいとは思いますが、何か評価された側にも要改善なら要改善で理由というものが伝わるような評価報告書にしなければならない。評価報告書を実のあるものにするため、次回まで2週間と時間があるので、いったん事務局側でまとめたものを吟味・検証する時間をいただきたい。
委員長	次回会議の最後に1回目の文言を詰める時間を設けよう。
委員	次回開催は夜だが、時間は押すのは大丈夫なのか。ただ、記憶が鮮明なうちに整理したい。
政策課	会議前にもってくるのはどうか。
委員長	会議を1時間前倒して時間を設けるということ。

委員	事前質問の回答書を1日前などに送ってもらうことは可能か。
政策課	回答が期限までに出てこない課があるのだが、もしそうなれば、一定の期日までに集まったものを事前にメールで添付して送ることで了解する。
委員長	時間省略のために事前に意見をまとめたものを用意すること、次回開催18時集合ということ以外は、今回と同じ進行でよろしいか。
委員長	<p data-bbox="395 539 560 573"><了解する></p> <p data-bbox="395 618 1023 651">では、第2回さぬき市行政評価委員会を閉会する。</p>